

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)	◎	商店街（代表者）	・新規感染者数がかかなり減少しており、また、ワクチン接種が進んでいけば、景気や来街来客数も上がってくる。
	◎	一般小売店〔精肉〕（店員）	・時短営業要請や休業要請が解除されると、飲食店向けの販売量が増えることを期待している。
	◎	家電量販店（従業員）	・暑くなり、冷房器具の需要が増えることに期待している。
	◎	一般レストラン（スタッフ）	・ワクチンの普及で時短営業等自粛が解除され、外出する人も多くなり、今より悪くならないと考えている。しかし変異株の拡大は危惧される。
	◎	競馬場（職員）	・緊急事態宣言の解除に期待している。
	○	商店街（代表者）	・当地でも本格的に新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、景気も幾分回復していくと予想している。
	○	商店街（代表者）	・ワクチン接種が普及し、さらに、東京オリンピック効果で、景気が上昇することに期待している。
	○	スーパー（店長）	・ワクチン接種率が向上すると、海外のように人の動向も多くなり、支出額も増加していくと予想している。
	○	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種により、新型コロナウイルスに収束が見込まれることから、上向くと考えられる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・ワクチンの普及で第4波が落ち着き、経済回復を期待している。東京オリンピックが開催されることで、家飲み需要増加に期待している。
	○	コンビニ（エリア担当・店長）	・東京オリンピックの影響は、当地には余り影響がないと考えられるが、まん延防止等重点措置の解除により、若干客の動きが緩やかになるように感じられる。総菜や弁当、アルコール等の販売量の動きが良くなると予想される。
	○	衣料品専門店（店員）	・ワクチン接種の普及で、人の流れが若干戻ると考えている。
	○	衣料品専門店（取締役）	・ワクチン接種が進み、東京オリンピックも開催されれば、今月の最悪の状況よりも上向きになることを期待している。
	○	家電量販店（店長）	・東京オリンピックが開催されれば、黒物商材を中心に、多少は特需があると予想している。
	○	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの高齢者へのワクチン接種が始まっており、8月以降は65歳以下へのワクチン接種が行われる。そのため、経済活動も活発になる。
	○	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・ワクチン接種が進み、緊急事態宣言が解除されれば、夏に向けて売上、来客数共に回復すると考えている。ただし、新型コロナウイルスによる企業への影響で、ボーナスの減少も予想され、これからのボーナス商戦に悪い影響が出ないことを願っている。
	○	観光型ホテル（総務）	・行政がワクチン接種を加速させる施策を進めており、医療従事者や高齢者等ワクチン接種を終える動きが出ており、1回目の接種を終えた人から安心感が伝わってくる。景気回復は、ワクチン接種の進捗に比例する。
	○	観光型ホテル（専務）	・ワクチン接種が広まると医療危機が緩和されると考えられるので、団体客はしばらく戻らないが、個人客の動きに期待している。
	○	旅行代理店（職員）	・緊急事態宣言解除後の販売量が今月より良くなると想定している。
	○	タクシー運転手	・ほとんどのイベント縮小や中止が続いており、早急なワクチン接種による感染者数激減で景気回復を期待するしかない状況である。
○	通信会社（企画担当）	・コロナ禍前提での予算の動きが活発化している。そのため、情報発信や事業の引き合いが多く、通常プロジェクトもコロナ禍を踏まえた案件が増えている。	
○	美容室（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むと、今まで外出自粛していた人の外食や旅行などが増え、若干景気も良くなる。	
○	学習塾（従業員）	・少しずつ問合せが増えている。	
□	商店街（代表者）	・現状が変わらない限りは、今後急に回復するとは考えられない。	
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス対策が進めば景気も良くなると考えられるが、外出自粛のなか心理的に不安な状態となっており、需要は伸びていかない。	

□	商店街（代表者）	・来街者は通院や生鮮食料品の購入等、最低限度の用事を済ませ帰宅しており、不要不急な外出は控えている。
□	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・通常は、魚の需要が少なくても、例年土用の丑の日だけは売れるが、今年は7月の土用の丑の日に多くのウナギの売上があるかどうか危惧している。
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・報道で景気の悪いニュースを耳にするのが、幸い取引先やお得意様には、悪い状況でも景気が上昇しているところもあり、売上につながる要因の1つになっている。花の購入は余裕がないとできないとも考えるため、それなりに売上を伸ばしていきたい。
□	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・新型コロナウイルスの影響で、仕入価格が上がっている。ワクチン接種も始まり、徐々にふだんの生活に戻り、売上を回復したい。
□	百貨店（企画担当）	・外出自粛が続いており、景気回復には当分時間が掛かる。ワクチン接種の効果で感染者数が減少すれば、景気回復につながるが、当面は厳しい状況が継続すると考えられる。
□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種状況、また東京オリンピックの影響等が読めない状況である。
□	百貨店（営業担当）	・クラスター発生による不安や外出自粛で、早急な回復は難しい。しかし、ワクチン接種も開始され、店頭外のサテライトショップやギフトショップ、また、Web、通販受注に客の動きが期待できる。店頭での自家需要の紳士雑貨やリビング用品、また、家電製品や嗜好性の高い舶来雑貨・時計美術工芸等は依然堅調であり、客単価、商品単価は維持している。慎重な行動や感染防止意識は継続しているものの、県内外との往來の回復は見込めず、今後も自家需要中心の購入は継続する。
□	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響が続き、来客数が減少し、低迷することが予測される。
□	百貨店（売場担当）	・売上について、前年は前年比80%前後で推移していた傾向を踏まえると、前年比110%前後までは伸びるが、前年比120%以上伸びることはない予想される。固定客の購買率が高いことが最近の特徴であるが、一部の店舗では、緊急事態宣言も発出されており、来客数が当月だけで前年比30%である。緊急事態宣言が解除されると若干増加してくる。
□	百貨店（経営企画担当）	・5月中旬から緊急事態宣言が発出され、来客数が減少している。その後、休業要請を受け土日を臨時休業としたために、更に売上が減少した。加えて緊急事態宣言期間も延長され、先行き不透明な状況が継続する。
□	スーパー（店長）	・ワクチンの接種率及び感染率によって景気が左右されるため、先行きの不透明さから、現状と変わらないと考えられる。
□	スーパー（企画担当）	・ワクチン接種の見通しが立たず、しばらくは変化がない。休業要請を受けている業種では、支援金給付だけでは見通しが立たず、更なる景気悪化につながるのではないかと懸念される。
□	スーパー（経理担当）	・ワクチン接種や緊急事態宣言等の動向により、予測が付かない。経済が回りだすと内食需要は減っていくと予想される。
□	スーパー（統括者）	・しばらくは巣籠り需要により総菜や酒類が健闘すると予想されるが、来客数は維持しながらも客単価の減少で、売上也落ちる状況が続く。
□	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種も始まり、今年中に回復すると予想していたが、まだまだ良くなる兆しはなく、店の売上や周りの状況も変わらず、厳しい状況が継続する。
□	コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が6月20日まで延長され、人の流れが制限されるため、来客数の増加は見込めない。
□	コンビニ（経営者）	・現状の厳しい状況が続くと見込まれ、ワクチン接種が進むまで接客型の小売業は低迷することが想定される。コロナ禍でも、今後ニーズが上がる商品開発やサービスを積極的に取り入れていかなければいけない。
□	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株による影響がつかめず、不安である。
□	衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種がようやく始まるが、その効果が出るのは、まだ先である。
□	衣料品専門店（店長）	・2～3か月後も先行き不透明な状態が続く。

<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるため、先行き不透明で見通すことが難しい。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・かなりの外出自粛ムードで、前年の来客数の70%である。先行き不透明のなかで、売上を上げていくことが非常に厳しい状況である。しかしこれ以上悪化することはないのではないかと考えており、ワクチン接種の普及が進んでいくことを期待している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（総務担当）	・長梅雨が予想されるため、夏物商材の動き出しが遅れ、また、新型コロナウイルス第4波が地方にも広がり、購買心理が上向かない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（広報・IR担当）	・新型コロナウイルスの終息やワクチン接種状況の先が見えず、景気が良くなる大きな要因は見当たらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・現況が大きく変化する要因がない限り、回復はほとんどない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	・しばらくは、半導体不足の状況が続くため生産減少になり、新車販売台数は低迷する。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・新型コロナウイルス発生前と比較すると、客単価及び来客数共に減少している。例年は梅雨時期になると客の来店や売上が減少傾向ではあるが、今年はまとめ買いをする客が増えているため販売量は例年より増加傾向にあり、また天候にも左右される部分もあるため、売上は変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・ワクチン接種等でコロナ禍が劇的に収束しなければ、景気回復は難しい。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・悪い状況は継続しており、客を積極的に呼ぶこともできず、手の打ちようがない。ワクチン接種の効果で、早く終息することを期待するしかない。
<input type="checkbox"/>	居酒屋（経営者）	・ワクチン接種に期待したいが、外出に対する抵抗がなくなるには若干時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・都市部の新型コロナウイルス感染が落ち着かなければ、客は増加しない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・現在の状況で、頼みの綱はワクチン接種に限る。全国民の7割まで浸透すると、かなり状況が改善されると考えているが、まだ始まったばかりで接種率が上がっておらず心配である。
<input type="checkbox"/>	通信会社（統括者）	・客の来店予約も定着し、混雑することなく来店している。次の時期は新商品が発売されるため、販売拡大に期待したい。
<input type="checkbox"/>	観光名所（従業員）	・東京オリンピックの開催や夏休み需要の見通しが読みづらく、先行きが分からない。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・人の動きが悪く活性化ができない状態のため、おしゃれをしないようになってきている。緊急事態宣言が延期されると景気回復は望めず、悪い状態が継続される。
<input type="checkbox"/>	理容室（経営者）	・当業界でクラスターが発生したため、客は敬遠し、来店サイクルも伸びている。4月の入学や就職の来店がなく、新規の客もない状態で、悪くなる一方である。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・新型コロナウイルスの感染が、2～3か月の周期で猛威を振るっているため、重い雰囲気社会全体にあり、景気上昇という状況にない。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・高齢者に向けた新型コロナウイルスワクチン接種が予定よりも遅れ込んでおり、感染拡大状況によっては、更に客やサービスの減少が想定される。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・収入減少の傾向は続きそうであるが、生活必需品等の価格は上がっており、現状から変わりそうにない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・2～3か月後は、今月の状態が継続されるため状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が長引きそうで不安である。
<input checked="" type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・コロナ禍が収束に向かわないため、商店街の通行量も悪く、空き店舗も出始めている。加えて早い梅雨入りとなり、一段と来街者は減少すると予想される。
<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店〔青果〕（店長）	・夏に向けて、野菜の生産も信州や北海道と移っていくが、毎年相場が徐々に上がることで、客の購買力が落ちていく。加えて東京オリンピック開催がまだ確定されておらず、これにより様々な影響が出てきて、厳しくなってくる。

	▲	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息が見込めず、状況はまだ良くならない。
	▲	百貨店（企画担当）	・クリアランスセールが落ち着き、夏の帰省や旅行等の需要が見込みにくい。
	▲	百貨店（業務担当）	・今後現状が大きく好転することは望めず、消費が大きく回復するとは考えられない。新型コロナウイルス対策による早い収束を期待している。
	▲	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で企業活動に負の影響が大きく出ており、消費者にも失職や所得減少といった状況になっている。ますます負の影響が強くなり、消費マインドの低下が懸念される。
	▲	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言発出後、更に状況は悪くなっており、今後が危惧される。
	▲	家電量販店（店長）	・季節要因で上向くことはあるが、新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、良くなることはない。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・コロナ禍に加え、6月は農繁期となるため、来客の期待はできない。
	▲	住関連専門店（従業員）	・本格的に暑くなると来客数も減るため、景気は悪くなる。
	▲	通信会社（企画担当）	・光回線サービスのエリア拡大も落ち着き、販売量は少なくなっていく。
	▲	通信会社（業務担当）	・緊急事態宣言の延長により先が読めない状況になり、景気が下向きになる可能性がある。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・今年も梅雨期間の長雨や梅雨明け後の猛暑が予想され、変異株の感染拡大が見通せない。
	▲	ゴルフ場（営業）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染状況が落ち着く気配がない。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・春先以降、新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向になり、来場者数減少等客の動きも緩やかである。今後の受注状況にも影響が出ると予想される。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・景気が悪い状況であるが、ワクチン接種の普及状況も伸びており、緊急事態宣言の解除や東京オリンピックの期待もある。しかし、気の緩みから3か月先は新型コロナウイルス感染が拡大し、感染者数が増加するのではないかと先行きは不安である。
	×	商店街（代表者）	・見通しが全く想定できない。
	×	商店街（代表者）	・先行き不透明なため2～3か月先も見通しが立たず、悪い状態になる。
	×	コンビニ（店長）	・ホテル内にあるコンビニエンスストアのため、3か月後も全く見込みが付かない。
	×	乗用車販売店（代表）	・コロナ禍による影響が徐々に出てくる。
	×	高級レストラン（経営者）	・時短営業要請により新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、時短営業が解除されてもすぐに客が戻るとは考えられない。当店は企業の取引先との会場場所になっているが、感染防止対策として利用されず、今後も動きがないと推測される。
	×	高級レストラン（経営者）	・外出自粛の影響で、飲食店やその取引先である酒屋や肉屋等の小売、またホテル等のサービス業もかなり打撃を受けている。やっとワクチン接種が受けられる期待があるが、暗中模索状態である。
	×	スナック（経営者）	・緊急事態宣言の延長が決まりそうで見通しは暗い。営業が再開できてもワクチン接種が完了しない限り、客足は戻らない。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルス変異株の感染力は強くなっているが、飲食店や酒類への対策のみで効果がないため、感染拡大は当面続く。加えて東京オリンピック開催で更に状況悪化が懸念される。
	×	都市型ホテル（販売担当）	・第1四半期のマイナスを取り返せるかどうか、見通せない状況である。
企業 動向 関連 (九州)	◎	電気機械器具製造業（総務担当）	・取引先の生産計画からも新型コロナウイルスの影響による半導体関連の需要で、当面の間増産傾向が続く。
	○	金属製品製造業（事業統括）	・受注量は変わらないが、引き合い数は前年比10%増の増加傾向にある。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体の動きが良くなるにつれて、電子部品関係の需要も上がるため、その対策を打ち合わせていかなければいけない。

<input type="radio"/>	電気機械器具製造業（取締役）	・自動車関連は依然根強いが、コスト的には厳しいものがある。
<input type="radio"/>	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・2か月先の予測では6～7月は生産量も多く、繁忙期である。しかし、8月は半導体不足の影響が予測され、先行き不透明である。
<input type="radio"/>	その他製造業 [産業廃棄物処理業]	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、今よりも更に増産の話が出ており期待している。
<input type="radio"/>	金融業（営業担当）	・今後、ワクチンの接種が進めば全体的に人の動向は大きくなり、サービス業を中心とした飲食業や観光等に売上の回復が見込まれる。また東京オリンピックが開催されれば、売上回復の後押しになると考えられる。
<input type="checkbox"/>	農林水産業（経営者）	・早く梅雨入りしたことや新型コロナウイルスの感染拡大による消費減退で6～7月も厳しい状況である。好調である量販店向けは梅雨時期には期待できず、外食部門の落ち込みを補うためWeb販売も試みているが、マイナス部分を埋めるまでには至っていない。外食部門が元の状態に戻るとは思われないが、国内のワクチン接種が終了する秋口以降にならなければ期待できない。
<input type="checkbox"/>	家具製造業（従業員）	・緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除となっても、広範囲におけるワクチン接種と急速な接種率向上がなければ、すぐには経済活動の活性化にはつながらず、家具メーカーの低迷は継続する。
<input type="checkbox"/>	化学工業（総務担当）	・農薬需要の先行きは、不透明である。
<input type="checkbox"/>	窯業・土石製品製造業（経営者）	・以前は夏の売場にガラス製品が並べてあったが、現在では小売店や百貨店、量販店の影響が少なくなった。Webでの販売体制ができているため、大きな売上の落ち込みはなく通常の状態に戻せるのではないかと予想している。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・今後3か月もほぼ同じ受注と予想される。
<input type="checkbox"/>	建設業（社員）	・官公庁の発注予定が出てても、本格的には6月にならなければ入札は多くならない。また入札が多くなっても、抽選が100%であるため悪循環の繰り返しが続くが、努力していくしかない。
<input type="checkbox"/>	輸送業（従業員）	・近隣の倉庫も空坪が目立ち、倉庫を借りていた荷主も、自社工場や拠点の統合等で撤退の動きがあり、先行きは暗い。
<input type="checkbox"/>	輸送業（総務担当）	・緊急事態宣言の延長で消費が落ち込むことは予想されるが、回復する期待は持てない。コロナ禍は、しばらく続くと感じなければならない。
<input type="checkbox"/>	通信業（職員）	・今年度の折衝件数は、前年度より減少しており、上期で大きく変化する見込みはない。
<input type="checkbox"/>	通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの具体策効果が不透明なため、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	金融業（従業員）	・公共事業が高水準で推移しており、住宅販売も持ち直しの動きがみられている。一方、新型コロナウイルス新規感染者数の減少幅が頭打ち傾向にあるため、飲食店、ホテル・旅館、旅行業等では、先行き不安感が強い。
<input type="checkbox"/>	金融業（営業）	・ワクチン接種の状況次第で景気が上向くと考えられる。しかし東京オリンピックが開催されても、家での観戦では、むしろ悪くなる可能性がある。
<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	・緊急事態宣言が発出される都市が増加していることや緊急事態宣言期限延長の方針が検討されるなど、新型コロナウイルス感染者数の増加が抑制されていない。引き続き新型コロナウイルスの感染防止による経済活動の抑制が続くことで、企業の資金繰りや事業継続に影響を及ぼしていくと予想され、加えてワクチン接種の普及時期も不透明で、現段階では景気回復を見通しにくい状況である。
<input type="checkbox"/>	新聞社 [広告]（担当者）	・好材料が見当たらないため変わらない。
<input type="checkbox"/>	広告代理店（役員）	・3か月予想が前年並みであり、伸長のきっかけが今のところ見えていない。
<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（社員）	・しばらくは外出自粛が継続し、状況は変わりそうにない。
<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント（代表取締役）	・取引先に業況を確認するが、大きな変化がない状態である。
<input type="checkbox"/>	その他サービス業 [物リース]（職員）	・緊急事態宣言が継続される予定であるが、大きく動きがないと考えている。

	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・予定している案件数等が少なくなるため、若干景気が落ち込む。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・独自に営業の取組をしているものの、好転する兆しが乏しい。新型コロナウイルスの影響は避けられず、少しでも売上につながるような営業展開を進めていく。
	▲	建設業（従業員）	・事業形態が変わり、管工事主体の経営になる。そのため売上減少が予想され、今後一層厳しくなる。
	▲	輸送業（従業員）	・販売先のアフィリエイト企業が広告規制で売上減少の見込みである。輸出も中国の2022年の規制変更で停滞が予想される。今までのように、日本国産品に中国語のラベルを貼って輸出ができなくなる。
	▲	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス関連融資の返済開始が迫る事業者にとって、収束がみえないコロナ禍は事業継続を模索する上で大きな重しとなっている。ワクチン接種の進展や効果的な治療薬の開発が、今後の景気回復の鍵を握る。
	▲	不動産業（従業員）	・賃貸マンションで空室が増加している。
	×	繊維工業（営業担当）	・資金が底を突いた企業や後継者がいない企業は、工場閉鎖も予想される。通常、繊維業界の景気回復が一番遅いといわれており、懸念される。
	×	経営コンサルタント（社員）	・酒類提供の規制が続けば、低迷状態が一層悪化する。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・新型コロナウイルスのワクチン接種で市町村は忙しく、このままでは、前年度の今の時期のように当初予算が執行されず、翌年度の持ち越しや新型コロナウイルス対策費用に充てられて、コンサルタントへの発注量が少なくなることが危惧される。そのため景気が更に悪くなることが予想される。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	新聞社〔求人広告〕（社員）	・今まで、緊急事態宣言で景気が悪化し、解除されると回復する状態を繰り返している。2～3か月先は、緊急事態宣言は解除されていると考えられるが、ワクチン接種には大きな進捗はないと思われ、すぐに景気に好影響を与える状況にはない。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・まん延防止等重点措置で、順調に落ち着きをみせれば6月半ばまでで解除される。また高齢者へのワクチン接種も7月までに完了すれば、マインドにも余裕も生まれ、消費活動も活発になると予想される。
	○	職業安定所（職員）	・微増ではあるが、引き続き求人数が増加傾向にある。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの対策であるワクチン接種が進めば、雇用情勢が改善され、新規求人数の増加が見込まれる。
	○	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの終息がみえず、なかなか経済活動が元に戻らない状況である。積極的に採用する動きになるには時間が掛かると考えられるが、前年と比較すると少しずつではあるが戻っており、学生の動きも若干活発化しているため、徐々に良くなる。
	□	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言発出により、時短営業を要請されている市もある。現在、契約のある企業担当者は、人材確保や補充について状況を注視している状態である。
	□	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言解除後もすぐには回復は見込めず、状況をみながら進めていくことになる。
	□	人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種の効果が表れ人々の生活が少し落ち着いてくれば、景気も若干良い方向に動くと考えられるが、見込めない限りは変わらない状況が継続される。
	□	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が発出され、求人数が減少傾向である。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・6月20日まで緊急事態宣言が延長される可能性が高いため、景気上昇は期待できない。しかし解除後は夏の繁忙期を迎えるため、一気に景気は上昇すると予想している。
	▲	職業安定所（職員）	・4月に入り新規求人数は前年を大幅に増加し、有効求人倍率も2年ぶりに前年を上回っているが、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、緊急事態宣言が発出される状況となり、人手が低迷している。
	▲	学校〔大学〕（就職支援業務）	・緊急事態宣言の延長が現実的となっており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続いている。長引けば経済界への影響が大きくなり、新卒採用者数の調整は更に進むのではないかと懸念される。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・3か月先の状況は、期待されているワクチン接種が遅れており、更に景気は悪くなる。

	×	職業安定所（職員）	・雇用調整助成金により雇用維持できているという事業者からの声がある一方で、雇用調整助成金の縮減が予定されているため、事業継続が困難となる事業者が見込まれ、懸念される。
--	---	-----------	---